

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 4月9日

【評価実施概要】

事業所番号	2970102477
法人名	医療法人新仁会
事業所名	春日グループホーム雪・月・花
所在地	奈良県奈良市白毫寺町900-1 (電話) 0742-20-7227
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年3月28日

【情報提供票より】(20年3月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 1月 19日
ユニット数	3 ユニット
職員数	25 人
利用定員数計	27 人
常勤	17人
非常勤	8人
常勤換算	21.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り
	2 階建て一部平屋建て

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	15,750 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,890円			

(4) 利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	27 名	男性	7 名	女性	20 名
要介護1	4 名	要介護2	8 名		
要介護3	9 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	1 名		
年齢	平均 88 歳	最低	77 歳	最高	100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医)新仁会 奈良春日病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

奈良公園を近くに控え、田畑が広がる自然に恵まれた環境の中に落ち着いた色調の建物で新築開所されています。設置主体が医療法人である事から、医療面では安心できるホームです。加えて、利用者本位の綿密な介護計画の下に生活支援がなされている他、ホーム内は明るくゆとりがあり、利用者も安心・満足を感じながら自分のペースで生活されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	利用者と職員が同じ食事を共にされ、楽しい雰囲気作りに努められています。また、行政との連携についても積極的な取り組みが見られます。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	サービスの自己評価の意義・目的を正しく認識され、全職員の参画の下に取組まれ、支援上の課題の把握と共に質の向上に活かす機会と捉え実施されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の設置目的や期待出来る機能等について正しく認識され、幅広いメンバー構成により設置されており、「地域の中でその人らしく暮らし続けるために」を目標に多方面の意見交換がなされサービスの向上に活かされています。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族会や運営推進会議での意見・要望の聴取や家族の訪問時に思いや不安等を聞き出す取り組みがなされ、また、直接話しづらい家族の為に投書箱が設置されています。これらから寄せられた意見等について、職員会議に提案され検討する仕組みがあります。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	事業所も地域社会の一員と自覚され、自治会への参加と共に地域の行事や交流会への参加・ホーム行事への招待等により地域住民との連携・交流を積極的にされています。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者本位と綿密な介護計画を元に懇切・丁寧な支援を柱とする理念があり、関係者は実践に日々取り組みされています。また、地域社会との関りも大切にされています。		地域密着型サービスに制度改正された事により、地域との関りがより重視されました。従来から、地域交流に取り組みされていますが、運営規定等の方針に、このことを明確に位置づけされる事を期待します。
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、運営理念を良く理解され行動・実践に活かされています。なお、スタッフ室や各ユニットに理念の掲出されると共に、職員会議等において確認し合う取り組みもなされています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会への加入はもとより、地域の行事や交流会・防災訓練等への参加、或いはホーム行事への招待などにより、地域住民との交流が図られています。なお、毎日の散歩時に挨拶を交わすことで親しい付き合いが出来つつあります。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義・目的を正しく認識され、自己評価に当たっては、全ての職員の参画の下に行われ、課題の把握と改善に向けた取り組む機会と位置づけされています。また、外部評価結果は回覧し、課題解決への提言と受け止め実践に活かす取り組みがなされています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	行政職員や地元自治会・家族会代表等による構成で運営推進会議が設置され、運営上の課題や利用者支援の取り組み等について話し合い、様々な意見を取り入れ、サービスの向上に活かされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人内担当者が、地域密着型サービスと位置づけされたこともあり、行政との関りが不可欠との考えから、常に運営上の課題・問題点の相談や情報交換に訪問されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月発行されるホームだより「かけはし」の余白部分を設け、ここに、一人ひとりの暮らしの様子を手書きで記入し家族への報告とされているほか、家族の訪問時には介護計画の説明とともに暮らしの状況等を報告する事とされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時に職員が積極的に話し掛け、不安や要望を聞き出す取り組みがなされており、開陳された内容は記録し、随時会議を開き検討・検証する事とされています。なお、直接言い出しづらい家族に配慮され、投書箱も設置されています。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の安定した生活を確保する上で、信頼・馴染みの関係は大切な要因であると認識され、職員異動は最小限に止めるよう配慮されています。なお、異動される時は、しっかり引き継ぎする取り組みがされています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人が年間研修計画を立て、実践的な技術や知識の習得に努められており、必要に応じて外部研修の受講を取り入れ職員の資質の向上への取り組みがなされています。なお、日々の生活支援の中に自らを成長させる機会が多々あることの意識付けを常にされています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との相互訪問がなされており、得られた情報等をサービスの質の向上に繋げる取り組みがなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	自然な形で利用が大切である事から、見学・面談時に本人の希望や不安を十分聞き取り、また、生活慣習も踏まえホームの雰囲気に馴染めるように工夫されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩と敬い、尊厳を尊重し信頼関係の中で共に達成感等を味わえる関係作りに努められています。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用前の生活暦を詳細に把握されると共に、暮らしの中での言動等に注意し、本人の思いや要望等の把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は、本人がより良く暮らし続けるためとの認識があり、介護支援専門員を中心に医師等関係者が、本人の状態や要望を参考に作成されています。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	各人により6ヶ月・1年という計画に基き見直しを行うとともに、日々の暮らしを詳細に把握されており、体調や状況に変化が見られた場合、関係者が相談され介護計画を見直す仕組みがあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院や一時帰宅等、家族の状況と本人の要望に応じて柔軟な支援に努められています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院の医師による往診が月2回あり、利用者との信頼関係が出来、安心して受診されています。なお、本人に希望があるときには、従来からのかかりつけ医の受診にも支援されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームの設置主体が医療法人であることから、終末期への明確な対応方針があり、職員にも周知が図られています。また、利用時に、家族等に説明もなされています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の尊厳遵守を支援上の大きな柱であり、職員は常にその言動には注意・心がけされています。なお、個人情報に関する関係書類等は、決められた場所で管理され、その取り扱いについても周知されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な生活の流れの設定がありますが、利用者本位を大切に考え、一人ひとりのペースや希望に応じて、柔軟な支援に努められています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作りへの参加や、食事の下準備と下・配膳等を協働され、食事を楽しむための環境づくりに努められています。なお、食への関心と気分転換に資する為に、外食の機会も提供されています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日の入浴時間帯の設定がなされていますが、本人の希望やペースを尊重され支援されています。なお、夜間の入浴についても、出来る限りの支援に努められています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活に喜びや楽しみを実感されることが大切との考えから、一人ひとりの生活歴や能力を参考に、やりがい・充実が見だせる場面(家事・農作業等)作りに工夫されています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	閉じこもりによる弊害を認識され、一人ひとりの希望や体調を助案され、周辺散歩の習慣づけや地域の催事への参加等積極的に外出支援に努められています。また、家族と一緒に旅行も取り入れられています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	しっかりした見守りがなされ、玄関には施錠されていません。訪問者も自由に出入りが可能で開放的なイメージが感じられます。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災発生を想定した避難訓練や連絡網の整備等について、地元消防署の指導の下に実施されているほか、地域の防災訓練への参加・周辺住民への被災時における協力依頼がなされ、利用者の安全確保に努められています。		火災発生時には、利用者を迅速・安全に屋外への誘導することが大切です。地域との交流も積極的に取り組まれ、ホームに対する理解も深まっていますので、被災時の応援・協力体制の構築と震災に備え、最小必要限の緊急物品の備蓄について検討される事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分補給の状況は詳細に記録されています。夜間には、各居室にお茶を置く等工夫もなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広く明るい共用空間が確保されており、家庭的な調度品の配置、季節に合わせた装飾、カーテンや窓の開閉による外気や採光の調節等、利用者が穏やかに暮らせる様に工夫されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりの居室には、使い慣れた家具や好みの品が持ち込まれ、安心して過ごせる場所となるよう支援されています。		